



ふれあい

記事と情報は下記へ
周陽公民館
☎28-6515



集
特
100号記念

「ふれあい」の歴史に かがわった人達の思い出



初代広報部長 原 康正

「原さん広報部長になって下さいね」と、なんとなく気軽に引き受けたものの、紙面の構成、題材など何もない状態でお出ししたので、大変なことを引き受けてしまったと思いましたが、創刊号を発行するまでは毎日打ち合わせを開き、迷いに迷ってやつの思いで第一号を発行したことをよく覚えています。このたびまた広報部の二員として、微力ながらお手伝いできたことをたいへん喜んでいきます。



初代広報部長 原 康正

百号の発行おめでとうございませう。はじめて発行した時

初代広報部長 原 康正



熱い思いの第一号

地域のみなさんに情報の提供をすることこそ、地域作りの絶対条件という思いで、「ふれあい」を発行した当時のことがなつかしく思い出されます。ワープロもなく印刷機といえは何度となく故障する。製作日数を十日間も費やして



「ふれあい」の発行にたず

「ふれあい」の発行にたずさわったのは二年間。記事がなくてテンヤワンヤ、自分な



野崎 俊明

「ふれあい」を自治会長さん宅へ配り終えて、ホッとしている時、もう次の原稿の切。原稿を集め編集するのは時には胃の痛くなるような作業でしたが、自分のイメージどおりにできあがった時の満足感、格別のものでした。編集される方は大変だと思

「ふれあい」を自治会長さん宅へ配り終えて、ホッとしている時、もう次の原稿の切。原稿を集め編集するのは時には胃の痛くなるような作業でしたが、自分のイメージどおりにできあがった時の満足感、格別のものでした。編集される方は大変だと思

周陽地区の人口比較 (昭和54年11月30日当時)

町名	世帯数	男性	女性	総計
上・下馬屋	28	56	50	106
孝田町	343	322	361	683
周陽一丁目	554	929	868	1,797
周陽二丁目	513	765	779	1,544
周陽三丁目	81	120	114	234
瀬戸見町	861	1,334	1,432	2,766
大内町	486	686	506	1,194
計	2,866	4,212	4,112	8,324

(昭和64年1月1日現在)

地区名	世帯数	男性	女性	総計
上馬屋	17	28	30	58
下馬屋	18	26	22	48
孝田町	360	340	416	756
周陽一丁目	544	867	821	1,688
周陽二丁目	577	786	777	1,563
周陽三丁目	86	135	97	232
瀬戸見町	981	1,393	1,468	2,861
大内町	404	609	578	1,187
計	2,987	4,184	4,209	8,393

編集後記

新しく広報部長として活動を始め、早六ヶ月がたちました。経験者少々、未経験者多数の危ない広報部としてスタートした私たちが、「ふれあい」百号記念号の発行にあたり、関係者に敬意を表したいと思っております。

百号と言っても単なる通過点だと思いがちですが、これからのながく続いてほしいものです。

「広報部一同」

「ふれあう心

連帯と福祉

このスローガンのもとに「ふれあい」100号の発行という、記念すべきふしめ号を迎えることができました。

秋の味覚

プレゼント!!

周陽公民館うらの、福祉の畑に植えてあった「さつまいも」が、周陽小学校一年生の子供たちの手によって掘られました。

このさつまいもは、独居老人の方々に秋の味覚としてプレゼントされました。



『ふれあい』100号記念 周陽地区 いま・むかし

座談会

周陽地区コミュニティ広報紙「ふれあい」は、十一月で百号という記念すべきふしめを迎えました。そこで、今回記念号として、周陽地区に永く住んでおられ、地区コミュニティ作りにご尽力をされた方々に、お話をうかがいました。

司会 さつそくですが、周南団地造成時からのお話をうかがいたいのですが。

会長 そうですね。周南団地は、山地六十五%、田畑三十二%、世帯数二百世帯、人口七百八人位だったと思えますが。



長広 その当時、大河内町町内会長をやっていた

会長 たんですが家が点々としている程度でした。私は四十四年頃、お家に来たんですが、家の回りには家が二、三軒しかなく、まるで砂漠のよう、こんな中で生活するのはかと思つて不安でした。

早船 大河内から馬屋へ行くには、軽四輪くらいしか通れなかったし、その道が今の国道三号線の基準のようになっていますが。

長広 久米に行くにも下馬屋の道を通り、ひと山越えないと、今の



会長 公民館周辺は山だったんですね。ハゲ山(笑)。

野村 四十六年頃からはつぼ家が建ち始めたのではないですか。

原 当時、もちまきが楽しみでちよくちよく出かけましたね。

司会 コミュニティ組織はどんな状態だったのでしょうか。

野村 四十六年頃の自治会連合会は周南団地が一つの地区として活動を行なっていました。今の秋月、桜木、周陽ですね。

早船 体育振興会もそうだったんですね。

会長 体育振興会の組織は秋月、桜木小学校の建設予定があったので、これを機に三地区に別れたと思えます。

長広 そうですね。また当時は連合自治会長を決めるにも、夜中までかかったりします。



長広 公民館、小学校もなく、集まる場所がないため、よく第三団地の集会所を借り

野村 そうですね。家でよく会合を開きました。家中がタバコの煙で黄色になるくらい。(笑)。

会長 そんな事が再三あったので、早く公民館を作ろうと、市長に請願を行った結果、五十三年に建設されました。

長広 連合会は、十三自治会で、遠石も含まれ、あくる年は四十三自治会でした。

御手洗 秋月、桜木も含まれていましたね。

早船 四十七年から運動会をやりましたね。住民の連帯を深めようと考えました。

会長 運動会は七回行ないそれから夏祭りになりかえました。老若男女だれでも参加できますから、それと五十六年にコミュニティの強化地区に指



定され十二団体の組織を作りました。

原 転勤者が多いから、コミュニティがとりにくいですが、子供に対しては、自

野村 自治会連合会、体育振興会、子供会、育成連絡協議会等、コミュニティ推進協議会を作りました。それから活動が充実してきました。それと公民館ができた事が大きかったですね。公民館を社会教育の場として、地域に密着した学習、研修の場としよう。又、学校とタイアップしながら、地域の人たちを集めて研修し、子供たちによい環境を与えようと活動が始まりました。

御手洗 よい思い出、楽しい思い出を作ってください。

早船 子供だけでなく、大人も一緒に一緒に



原 子供も大人も自分から「ドア」を開いて地域に向いてほしいものです。

長広 いつでも、たれでも気軽に入れる組織にしたいとだめなんです。そのためには、お互

の「あいさつ運動」の活動を推進する必要がありますか。

野村 「あいさつ運動」を含め、地域の人たちのために今、こんなことが必要だと思われませんか。

野村 「自分だけの世界」に閉じこもっていてはだめですね。余暇を生かしたボランティア活動などを通じて地域住民の連帯感を高めようではありませんか。

早船 だれもが参加できる「行事」を考えないと。



御手洗 自分も大切だけど、人に対して何をするかという考え、それとニューリーダーを養

成しないとマンネリ化しますね。青年たちの活動の場を広めてやりたいです。

長広 「ふれあい」の精神を大事にし、いろいろな活動をしたいですね。又、「ふれあい」とは、話し合うことですよ。

野村 だれかがやるだろう...ではなく、自分がやらなくてはだめだという気持ちを持ちたいですね。

会長 地域住民をいかにつなぎ合わせ、連帯感を持つて、住みよい住みやすい周陽を作りたい。そのために小さな事の積み重ねを行なっていきたいですね。

- 出席者
- 野村 悟一郎 コミュニティ推進協議会会長
 - 長広 香取 コミュニティ役員
 - 御手洗 寛 コミュニティ役員
 - 早船 智 コミュニティ役員
 - 野村 繁子 コミュニティ役員
 - 原 静江 コミュニティ役員



周陽地区コミュニティだより100号を記念して

周陽地区コミュニティ推進協議会
会長 野村 悟一郎

周陽地区コミュニティだより「ふれあい」の百号の発行を心から喜んでおります。思い出してみますと、「ふれあい」の第一号が発行された五十四年当時は、コミュニティ推進協議会や自治会連合会などの組織は、いろいろな活動が始まったばかりで、現在のように余り活発ではありませんでした。まとまった地域活動も盛り上がり欠けていたように思います。

そのような状況の中で、地域のみなさんに色々な情報提供の手段として、この「ふれあい」を発行したことをよく記憶しております。

おかげさまで、みなさま方のご支援により、現在では地域コミュニティ情報誌として、多に活用いただき、地域のみなさまと密接したものと なってまいりました。このよ

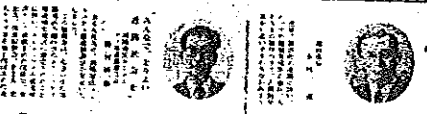
うな中でコミュニティだより「ふれあい」が百号を迎えることは、非常に意義深いものがあると思います。

この「ふれあい」が、百五十号、二百号と続き、よりみなさんに親しまれるコミュニティだよりになっていたと思います。これからもみなさま方のあたたかいご支援を賜りますようお願い致します。

コミュニティだより



創刊号の「ふれあい」



周陽公民館開館当時



周陽地区大運動会

周陽のあゆみ



どうの山から見た現在の周陽地区

- 50・4 秋月小分離
- 4 東消防署開署
- 4 バイパス全線開通
- 51 徳山中央病院開院
- 52 周南武道少年団発足
- 53 周陽公民館開館
- 4 桜木小分離
- 4 大内保育園開園
- 4 野球スポーツ少年団発足
- 9 周陽地区「コミュニティ推進協議会」発足
- 10 「ふれあい」創刊号発行
- 11 山口合同ガス営業開始

◎図案説明

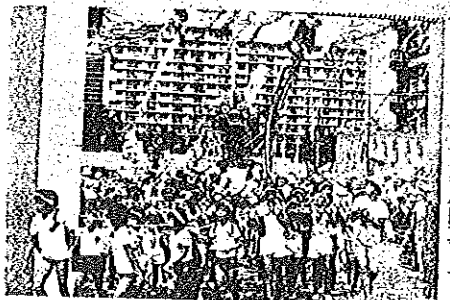
○若葉を表わし、さらに両手を寄り合わせた形を表わす。若葉は将来へ伸びゆく周陽地区を表わし、両手を寄り合わせた形は地区内住民の連帯意識・ふれあい意識・あたたかい心を表わす。



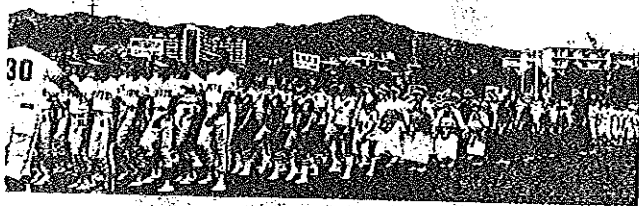
作/西村幹子



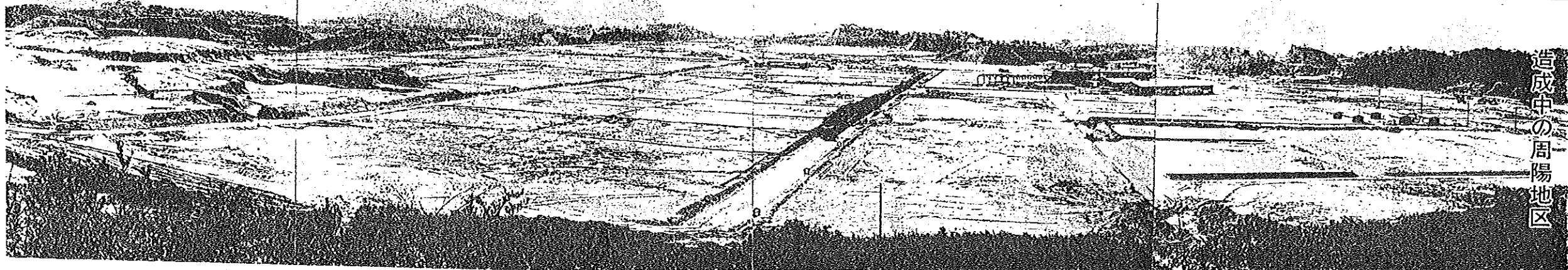
- 55 2 公民館報優良賞受賞
- 6 第一回資源ゴミ回収
- 7 第一回夏まつり



第一回周陽夏まつり



30



造成中の周陽地区

はばたけ 周陽っ子



『ふれあい』第一号 昭和54年10月25日に発行!!

昭和54年10月に生まれた周陽小学校の子供達です。200号が発行される時は、周陽地区の将来を担う、りっぱな大人になっているでしょう。



高見 真奈
保育園の先生



福永 直健
剣道の先生



遠藤 久志
コンピュータのプログラマー



蔵田 亜弥
ブティック経営



野村 敏也
おもちゃ屋さん



安田 時子
ふつうのお母さん



松ノ木 武士
剣道の先生



藤井 亜希子
ピアノの先生



斎藤 真理
デザイナー



豊田 直之
サラリーマン



高木 太師
プロ野球の選手



榎本 有希子
ようちえんの先生



木村 智正
オリンピックの水泳選手

①氏名
②将来どんな人になりたい?



第1回グリーンベルト空缶ゴミ回収



第1回食事文談会



資源ゴミ回収事業



第6回周陽夏まつり



人形劇風景



11 ● 全国優良公民館
文部大臣賞受賞

56 ● 3 ● 周陽小学校十周年を迎える
5 ● 若葉会発足

57 ● 3 ● 周陽中学校十周年を迎える
4 ● ミニバススポーツ少年団発足
● ソフトボールスポーツ少年団発足
6 ● グリーンベルト空缶ゴミ回収作戦開始

● 民生委員組織ができる
● 独居老人との食事文談会がはじまる

58 ● 2 ● 資源回収運動で受賞

12 ● 『ふれあい』百号記念号発行

1 ● 4 ● サッカースポーツ少年団発足
5 ● 子供会育成連絡協議会全国善行表彰受賞
8 ● 周陽音頭発表

59 ● 4 ● 秋月中学校開校・周陽中学校と分離
62 ● 1 ● グリーンベルトが「みどりのふれあい通り」にきまる。

